

**2024年度活動支援事業 信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業
組織診断実施後の支援対象活動計画(詳細版)【公開版】**

作成: まちの縁側なから(支援対象団体)
信州社会事業応援ネットワーク(活動支援団体)

基本情報【公開】

支援対象団体名	特定非営利活動法人 まちの縁側なから
作成日	2026年3月30日
支援期間	2026年4月1日～2027年3月31日
事務局担当者(コーディネーター)名	栗津 知佳子、山本 大輔
専門家名(支援分野)	行政書士(※検討中)
参加予定の共通プログラム(オンラインで1～3時間程度の研修会を予定)	(以下から複数選択) ☒ ビジョン・ミッション ☒ 団体内コミュニケーション ☒ 中期計画の策定 ☒ 労務管理 ☒ 収支 ☒ ファンドレイジング ☒ 広報 ☒ 理事会 ☒ リスク管理

組織診断の実施【公開】

取り組み内容	時期
集合研修への参加(全2回)	2025年11月、2026年1月
組織診断チェックシートへの回答	2025年11月～12月
ステークホルダー意見の収集	2025年11月～12月
団体内ミーティング(全2回)	2025年12月～2026年2月
組織診断報告書の作成	2026年3月

個別支援計画【公開】

「信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業」における2026年度の成果目標	
・団体内で目指す方向性、今後の組織や活動のあり方について話し合い、合意形成ができている。 ・現在代表に集中している役割を整理し、役割分担を見直すことで、より無理のない持続可能な運営体制に移行できている。 ・将来的に活動を後継者に引き継げる状態に向けて、公私の線引きが整理できている。	

	テーマ	取組内容	時期	支援
1	団体の方向性	・ファシリテーターの支援を受けながら、団体内で話し合い、団体の目指す方向性・ビジョンを再確認した上で、どんな組織を目指すかについて話し合う。	4月～	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
2	役割分担の整理・代表の負担軽減	・ファシリテーターの支援を受けながら、役割分担の整理を話し合う。 ・共通プログラムや長野県のNPO運営セミナー等を通じて、事務、会計について学ぶ。 ・団体内部でデータの管理と共有を進める。	5月～	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
3	今後の組織・活動のあり方	ファシリテーターの支援を受けながら、今後の組織・活動のあり方について、選択肢を団体内で話し合う。	7月	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
4	公私の線引き	外部の専門家(行政書士)に協力いただき自	4月～	外部の専門家(行政書士)

		宅と地域拠点の区分を整理する。		に協力を依頼する。
5	収支の検討	伴走支援者の支援を受けながら、収支を検討する。	11月	コーディネーターが伴走支援を行う。